



令和5年度補助事業等実績報告書

令和6年4月1日

函館市長 大泉 潤 様

住所 函館市若松町33番6号
補助事業者等 函館市社会福祉協議会3F
団体名 函館認知症の人を支える会
代表者氏名 会長 朝倉 順子

補助事業等の名称 函館認知症の人を支える会運営事業

令和5年4月1日函福高をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、

令和6年3月31日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額	金	100,000円
補助金等領収済額	金	100,000円
補助金等領収未済額	金	0円

補助事業等の実績書

申請者の概要	設立年月日 昭和62年7月21日
	構成員 90名（令和6年3月末現在）
	営む主な事業 認知症の人とその家族に係わるボランティア活動
補助事業等の内容	別紙（令和5年度活動実績）のとおり
補助事業等の実施による効果	会員相互の連携強化や、認知症の人とその家族の支援を行うことが可能となり、また地域社会に対する認知症高齢者の理解が深まることで、地域福祉の発展に寄与できた。
備考	

- (注) 1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 補助事業等の内容は、詳細に記載すること。（別紙も可）
 3. 工事の施行を伴う場合は、その実施設計書および図面を添付すること。
 4. その他必要と認められた書類を添付すること。

令和5年度活動実績

- 1 定期的に（年9回）家族の集いを開催し会員相互の交流と情報交換をする。
- 2 定期的に（年9回）会報を発行し、活動状況を会員等に報告する。
- 3 電話相談（毎週木曜日）を行い、会員及び市内外の介護している家族との連携を図る。
- 4 定期的に（年10回）「もの忘れカフェ」を開催し、認知症の人と家族が地域の人や専門家と交流し、理解を深める場とする。
- 5 認知症の人と介護者への社会一般の理解と関心を広めるための、研修会を行う。
- 6 関連する各種研修会、講演会に参加し、認知症について研修し、介護技術の向上を図る。
- 7 施設の現状と、そこでの生活状況の理解のため施設見学を行う。
- 8 介護を経験した会員等による施設ボランティアを行う。
- 9 その他、認知症の人の人権並びに福祉向上のための諸活動を行う。

7と8はコロナ感染防止のため中止

令和5年度年間行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定期総会	4月14日(金) 函館市総合福祉センター 4階 会議室											
「集い」曜日	△	4日(木)	1日(木)	6日(木)	△	7日(木)	5日(木)	2日(木)	7日(木)	△	1日(木)	7日(木)
内 容	総会	交流会と 自由懇談	交流会と 自由懇談	交流会と 自由懇談	「集い」 「会報」 お休み	交流会と 自由懇談	交流会と 自由懇談	自由懇談	交流会と 自由懇談 「会報」 はお休み	「集い」は お休み	交流会と 自由懇談 「会報」は お休み	交流会と 自由懇談
会報発行日	27日(木)	25日(木)	29日(木)	27日(木)	△	28日(木)	26日(木)	30日(木)	△	25日(木)	△	28日(木)
電話相談日 (木曜日)	6. 13. 20. 27	4. 11. 18. 25	1. 8. 15. 22. 29	6. 13. 20. 27	3. 10. 17. 24. 31	7. 14. 21. 28	5. 12. 19. 26	2. 9. 16. 23. 30	7. 14. 21	4. 11. 18. 25	1. 8. 15. 22. 29	7. 14. 21 28
もの忘れカフェ 施設ボランティア (月曜日)	15日(土)	20日(土)	10日(土)	15日(土)	△	16日(土)	21日(土)	18日(土)	△	20日(土)	17日(土)	16日(土)
施設ボランティアはコロナ感染防止対策のため中止になる。												
研 修 会	道南ブロック研修会		森町	中止になる		施設見学		コロナ感染防止対策のため中止になる		認知症サポーター養成講座 随時		
全国の会	全国総会		京都市	6月	代表者1名	2023世界アルツハイマー月間 in はこだてへ参加		9月19日4名、9月21日15名				
全道の会	全道総会		札幌市	5月	代表者1名	函館市家族介護者交流事業（社会福祉協議会実施）		参加協力		7月10日4名、11月14日5名		

令和5年度 補助事業等の収支決算書

収入の部 A B B-A (単位:円)

項目	令和5年度予算額 (本年度予算額)		令和5年度決算額 (本年度決算額)		増 減		内 訳
		うち、補助 対象事業		うち、補助 対象事業		うち、補助 対象事業	
繰越金	3,453	0	3,453	0	0	0	前年度より繰越
会費	190,000	190,000	157,500	157,500	▲32,500	▲32,500	2,600円×63名
賛助会費	100,000	100,000	95,000	95,000	▲5,000	▲5,000	5,000円×19口
助成金	460,000	460,000	450,000	450,000	▲10,000	▲10,000	函館市 100,000. [Redacted]
寄付金	20,000	20,000	6,500	6,500	▲13,500	▲13,500	各位
雑収入	26,547	2,000	62,850	0	36,303	▲2,000	バザー売上・その他
合計	800,000	772,000	775,303	709,000	▲24,697	▲63,000	

支出の部 A B B-A (単位:円)

項目	令和5年度予算額 (本年度予算額)		令和5年度決算額 (本年度決算額)		増 減		内 訳
		うち、補助 対象事業		うち、補助 対象事業		うち、補助 対象事業	
研修費	80,000	80,000	61,251	61,251	▲18,749	▲18,749	謝礼・他
事務局費	240,000	232,000	253,547	231,981	13,547	▲19	事務用品・弔慰金・ボラ連保険
連携活動費	205,000	205,000	198,630	178,630	▲6,370	▲26,370	交通費・関連行事参加・他
会議費	48,000	38,000	39,975	26,788	▲8,025	▲11,212	総会・例会(集い)・お楽しみ会
通信費	130,000	130,000	123,350	123,350	▲6,650	▲6,650	会報送料・電話料金
負担金	87,000	87,000	87,000	87,000	0	0	道本部 600円×95名 全国 5,000円×6名
雑費	10,000	0	7,389	0	▲2,611	0	振込手数料・他
繰越金	0	0	4,161	0	4,161	0	次年度へ繰越
合計	800,000	772,000	775,303	709,000	▲24,697	▲63,000	

※実績報告の場合 収入の部 775,303 円 - 支出の部 775,303 円 = 収支差引額 0 円

(補助対象事業収入 709,000円 - 支出 709,000円 = 収支差引額 0円)

- (注) 1. この様式は、補助金等の交付を申請し、または、これに係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認められた書類を添付すること。